

札商街角ウォッチャー調査結果（7月）

平成18年8月

札幌商工会議所 総合企画部

札幌街角ウォッチャー調査（7月）

調査概要



- 趣 旨 本調査は、一般消費者に近い立場にある方々の景気に対する実感を反映した動向調査で、現場で働く人々から、それぞれの仕事やお客様から感じる身の回りの景気動向についてお聞かせ頂き、当所の景気判断の材料として諸事業活動に反映させる一方、結果を取り纏めて公表し、会員への情報提供に役立てています。
- 調査対象 市内及び周辺の13業種・15名をウォッチャーとして委嘱して調査を実施。
- 調査内容
 - ①現在の身の回りの景気について（景気現状水準判断）
 - ②前年同月と比べた景気動向について（景気現状判断）
 - ③3ヶ月後の景気見通しについて（景気先行き判断）
 - ④トピック
- 調査方法 調査は基本的に四半期毎に実施。

7月調査結果

問1) 今月のあなたの身の回りの景気は良いと感じますか、悪いと感じますか。

回 答	良い	やや良い	どちらとも いえない	やや悪い	悪い
回答者	なし	飲食店A(観光客主体) 印刷会社	スーパー ホテル(宴会) 飲食店B(地元客主体) ボーリング場 美容室 観光ハイヤー 新聞販売店	百貨店(婦人服) 旅行代理店(道内客) ホテル(宿泊) ゴルフ場 理容室	なし
配 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
回答数	0	2	7	5	0
点数計		8 点	21 点	10 点	

景気の現状についての上記5段階の判断に、それぞれ5点～1点の点数を与え、平均値を算出しています。（「どちらともいえない」場合は3.0）

今回調査(7月)	平均値 2.8		前回調査時と同じ平均値であり、横ばいで推移している。
前回調査(1月)	平均値 2.8		前回調査時より、平均値を0.1ポイント上げ、ほぼ横ばい圏内で推移している。
前々回調査 (H17年11月)	平均値 2.7		

※ 調査対象先（ウォッチャー）は今回より一部変更したため、前回・前々回と同一ではない。尚、2月～6月の間は本調査を実施していない。

問2) 今月のあなたの身の回りの景気は前年同月と比べて良くなっていると感じますか、悪くなっていると感じますか。

良くなっている	なし	
やや良くなっている	百貨店 (婦人服)	<ul style="list-style-type: none"> 夏物の値下げ商品が順調に消化できているほか、秋冬物のニットなども好調に推移している。 秋物も、トレンドに敏感な顧客の来店があり好調。
	飲食店 A (観光客主体)	<ul style="list-style-type: none"> 昨年同月より来客数が増加しているのに加え、客単価も若干アップし、売上が増えた。
	旅行代理店 (道内客)	<ul style="list-style-type: none"> 道内客の台湾への海外旅行や、温泉等の道内パック旅行が増加している。
	美容室	<ul style="list-style-type: none"> 来客数はほぼ横這いで推移しているが、客単価は上昇傾向。
	観光ハイヤー	<ul style="list-style-type: none"> 本州個人客のゴルフ送迎などが増加した分、前年に比べてよい。
	印刷会社	<ul style="list-style-type: none"> 名簿など、個人情報を含む印刷物制作の引き合いが増えた。
変わらない	飲食店 B (地元客主体)	<ul style="list-style-type: none"> 来客数が減って単価が上昇している。売上は変わらない。
	ホテル (宴会)	<ul style="list-style-type: none"> 本州企業による利用は好調だが、地元企業の利用は不調。トータルでは変わらない。
	ゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> 道外客は横這いで、地元客は幾分減少している。全体としては昨年並み。
	理容室	<ul style="list-style-type: none"> 来客数はほぼ変わらない。一部のお客様の来店の間隔が長くなっている。
	新聞販売店	<ul style="list-style-type: none"> 新聞購読数は微減したがほぼ横這い。一方、折込チラシの売上はやや増加している。チラシは、スーパー、パチンコ、不動産のものなどが主体。
やや悪くなっている	スーパー	<ul style="list-style-type: none"> 来客数・販売量の減少や、販売単価下落により、売上が若干落ちている。
	ホテル (宿泊)	<ul style="list-style-type: none"> 時期的にはハイシーズンに入っているが、一人当たりの単価(宿泊料)が下がっている。特にインターネットによる個人客からの予約では、料金設定を下げないとお客を引き込めない。
	ボーリング場	<ul style="list-style-type: none"> 7月の前半は客足が落ちたが、後半に入ってから上向いている。
悪くなっている	なし	

問3) 3ヵ月後のあなたの身の回りの景気は、今月と比べて良くなると思いますか、悪くなると思いますか。

良くなる	なし	
やや良くなる	百貨店（婦人服）	・冬の天候にもよるが、本格的なコート商戦に入る。トレンドや店の特色を前面に出すことで需要がでるだろう。
	ホテル（宴会）	・本州の好景気を反映し、本州顧客の利用増に期待。道内顧客は横這いの予想。
	ホテル（宿泊）	・秋は学会やイベントによる宿泊客の増加が見込まれるため、やや好転する見込み。
	旅行代理店（道内客）	・10月は秋の旅行シーズンなので、業績は上向くと思われる。 ・ただ、大手航空会社が10月初旬に国内線7,700円という激安運賃のキャンペーンを企画しているため、その期間のパック旅行は殆ど売れないだろう。
	ゴルフ場	・長期天気予報によると好天が期待出来るので、良くなると思う。
	美容室	・春から続いている客単価の上昇傾向が継続すると思われる為。
変わらない	理容室	・昨年も夏から秋にかけて客数は変わらなかったなので、今年も昨年同様に変わらないと思う。
	印刷会社	・現状では、特需の情報がなく、変化の要素は特にない。
	新聞販売店	・本州の景気上昇の影響がいずれは本道にも出るだろうが、当面は変わらないと見ている。
やや悪くなる	スーパー	・景気が良くなる直接的要因が見当たらない。逆に原油高や消費者の購買意欲が盛り上がり欠ける等、先が見えない。
	飲食店A（観光客主体）	・売上の7割を占める旅行会社経由の本州客の予約は、通常2～3ヶ月前に入るが、秋の予約の入り具合が芳しくない。この予約状況から判断すると、やや悪くなる見込み。
	飲食店B（地元客主体）	・夏季限定のウニなどのメニューがなくなる分、売上が減少する見込み。
	ボーリング場	・10月は、職場の観楓会シーズンのため客足が減る月であるため。
	観光ハイヤー	・季節的に本州からの観光客が減少するので、売上が下落する見通し。
悪くなる	なし	

質問5) 特記事項・話題になっている事柄・出来事などがありましたら、お聞かせ下さい。

百貨店（婦人服）	<ul style="list-style-type: none"> ・10月には、コートを主体としたファッションショーを開催し、需要喚起を図る予定。
飲食店A （観光客主体）	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社からの情報として、最近では本州からの道内ツアーに旭山動物園を組み込むケースが増えている。 ・直行便が増えた影響と思われるが、夏場に入って、台湾のツアー客や韓国個人客の来店が増えている。
飲食店B （地元客主体）	<ul style="list-style-type: none"> ・大通ビアガーデンのオープン後、急に客足が減っている。周囲の飲食店も同様と聞く。ビアガーデンの飲食物メニューが充実したことや、晴天に恵まれたことが拍車をかけている。このまま好天が続くと売上に大きな影響が出かねない。 ・観光客の財布の紐は緩いが、地元客は、特に公務員等は給料減少が影響してか、逆に紐が固いようだ。
旅行代理店 （道内客）	<ul style="list-style-type: none"> ・原油高により燃料が高騰し、昨年より海外旅行代金に「燃油特別付加運賃」という追加料金が付加されている。追加料金は現在、欧米便で往復16,000円と高額である。原油相場が高止まりすると、割高感が増して海外旅行需要の減退が危惧されるほか、マイカー旅行にも影響が出る。 ・不景気の中で頼みの綱であった道庁等公務員の給与カットは、売上への打撃が大きい。
ホテル（宿泊）	<ul style="list-style-type: none"> ・7月は、本州の大雨被害の影響で一部の団体宿泊予約にキャンセルがあった。
ホテル（宴会）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のホテル業界をとりまく状況として、土日祝日の「婚礼」の減少があげられる。各ホテルとも、その穴を「法要」で埋める営業努力をしている。
ゴルフ場	<ul style="list-style-type: none"> ・業界として、北広島のゴルフ場の動向が気になる。経営規模の大きい外資に買収されるようなことになると、期間限定でプレイ料金を大幅に下げるなど思い切った販売促進策をとると思われるので、脅威になる。
ボーリング場	<ul style="list-style-type: none"> ・業界全体として業況が好転傾向にあるが、これは、昨年市内のボーリング場5箇所が閉鎖したため、生き残っている施設に顧客が集中したためと考えられる。 ・7月は、タバコの値上げが客足に影響することを危惧したが、今の所その影響は現れていないようだ。
美容室	<ul style="list-style-type: none"> ・業界全体として、エステ、マッサージ、フットケアなど癒し系のサービスメニューを追加していることが、客単価の上昇に繋がっている。 ・少子高齢化の流れの中で、今後の業界の課題として、高齢層をターゲットにした事業展開が求められる。
理容室	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の中で、大手企業に勤めるサラリーマンからは、夏のボーナスが増えたなど景気のいい話を聞くことがあるが、公務員など地元のお客様からは、給料が減ったとの声が聞かれる。
観光ハイヤー	<ul style="list-style-type: none"> ・本州客が観光地を回るコースでは、旭山動物園を回るケースが非常に増えている。
印刷会社	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー・マークの認定を取得後、個人情報を含む印刷物の受注案件が増えており、今後期待している。 ・同業者において、後継者がいないため廃業する話が1、2件出ている。同様のケースが今後増えるのではないかと。
新聞販売店	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層などで、ニュースをインターネットで見て新聞は読まない人が少しずつ増加しているほか、老人世帯でも新聞購読者が微減傾向にある。

札幌商工会議所
札幌街角ウォッチャー調査結果（7月）

平成18年8月発行

【お問い合わせ先】

札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター
札幌商工会議所 総合企画部
TEL：011-231-1330 FAX：011-222-5215
Mail：kikaku@sapporo-cci.or.jp